自然地理学演習（１）

担当／山口隆子　　**通称**／気候ゼミ

ゼミキーワード／気候、生気象、ヒートアイランド、生物季節、気候景観

気候ゼミの全学生がお世話になるアメダス（東京）

〈気候ゼミ〉 の特徴や活動内容

気候ゼミは３年生、４年生、大学院生が合同で行っており、お互いに議論しあえる環境です。学年の枠を超えて観測・調査を行うこともあり、とても協力的なメンバーがそろっています。時には、厳しい意見にさらされますが、切磋琢磨し、成長することができます。

３年生は、ポスター発表（グループ）や卒論（個人）に向けた研究テーマを決め、１年かけて研究していきます。毎回のゼミでは３～５人ずつその研究過程を発表し、ゼミ全体で議論していきます。

４年生は卒論がメインです。卒論で通年観測を行う人は、３年次から開始しなければならないため、早めにテーマを決める必要があります。卒論のテーマは、教員と何度もやり取りを繰り返し（その過程で多くの論文検索を伴う）、決めていきます。観測や調査などは、教員や上級生も同行します。

ゼミ合宿は夏季と冬季、年２回を予定しています。夏季は気象観測や植生調査などを行い、冬季は卒論の総仕上げがメインです。

過去の卒業論文の論題例

●東京都心における風の日変化と日照

●夏季における小児感染症流行の生気象学的考察

●ヒガンバナの開花に関する気候学的研究

■山口先生ってどんな先生？■　とにかく距離が近いので卒論に関することはもちろん、就活に恋愛になんでも心を開いて相談することができます。

現地への調査は予定が合えば日本全国津々浦々、どこでもついて来てくれます。〈ゼミ生Ｉさん〉